

# 世界が 懸念していること

2023年9月



GAME CHANGERS



# 世界が懸念していること

イプソスが毎月実施している「世界が懸念していること調査（What Worries the World）」では、世界29カ国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

この**グローバルサマリーレポート**では、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意識と共にご紹介しています。

各国および各懸念事項の調査結果の詳細は、[www.ipsos.com](http://www.ipsos.com) でもご覧いただけます。

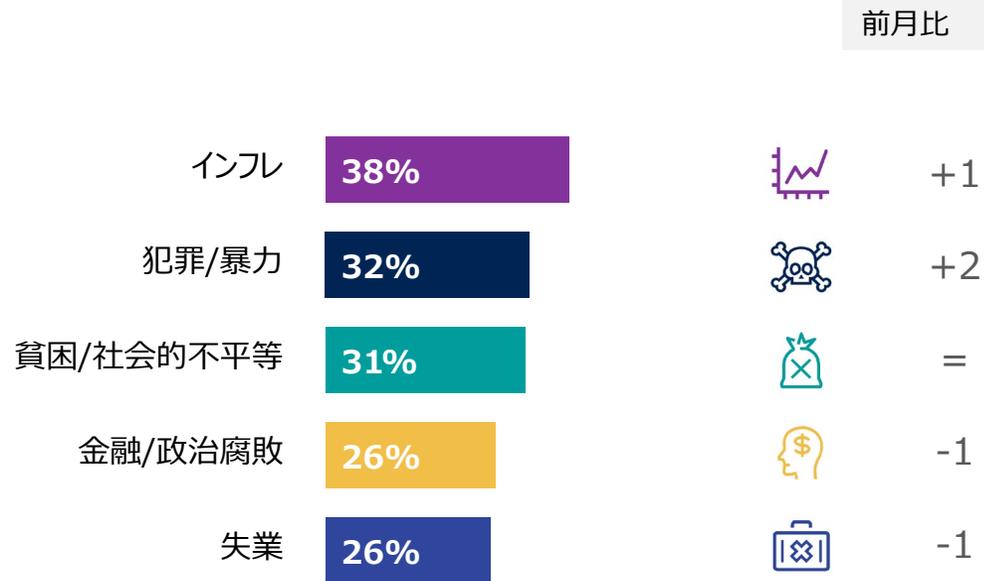
詳しくは [Teodros.Gebrekal@ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@ipsos.com) までご連絡下さい。



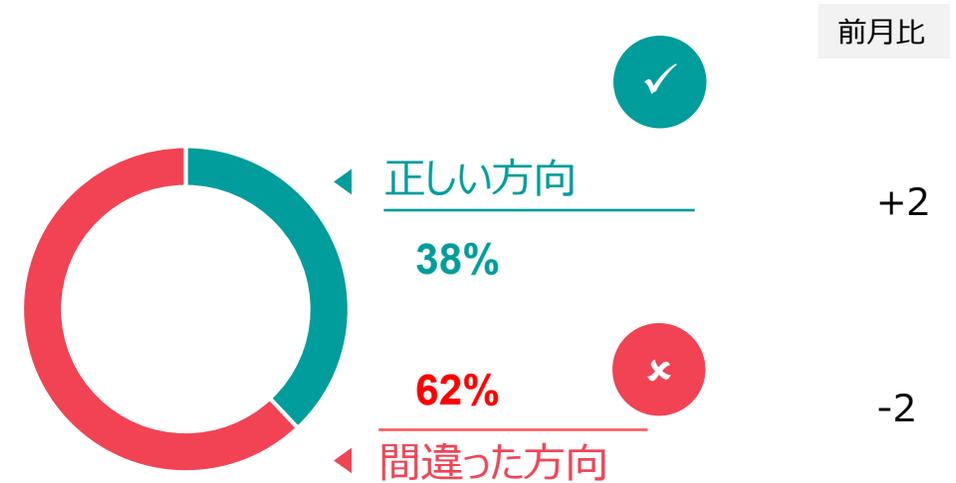
# 世界が懸念していること 2023年9月

インフレは18ヶ月連続で世界の懸念事項のトップとなっており、29カ国のほぼ10人に4人（38%）が自国の最大の懸念事項として挙げています。犯罪/暴力に関する懸念は32%に上昇し、これは新型コロナウイルスが「世界が懸念していること調査」のリストに追加される前の月でパンデミック前の2020年3月以来の高水準となっています。

**Q** 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



**Q** 自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2023年8月25日～2023年9月8日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

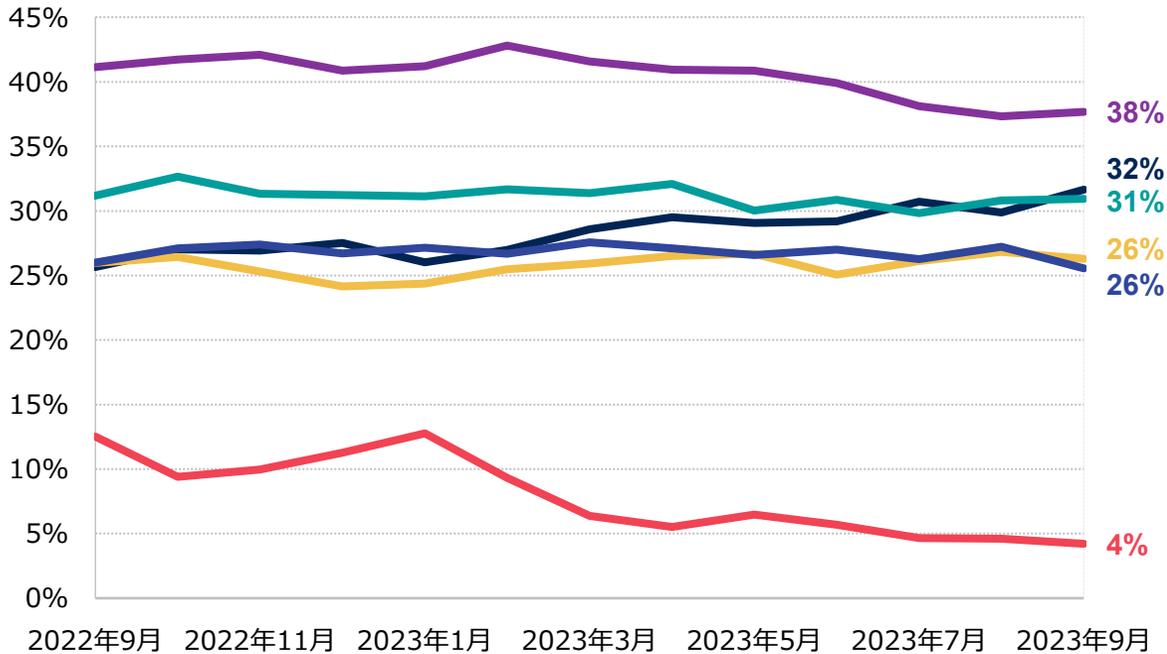
3 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



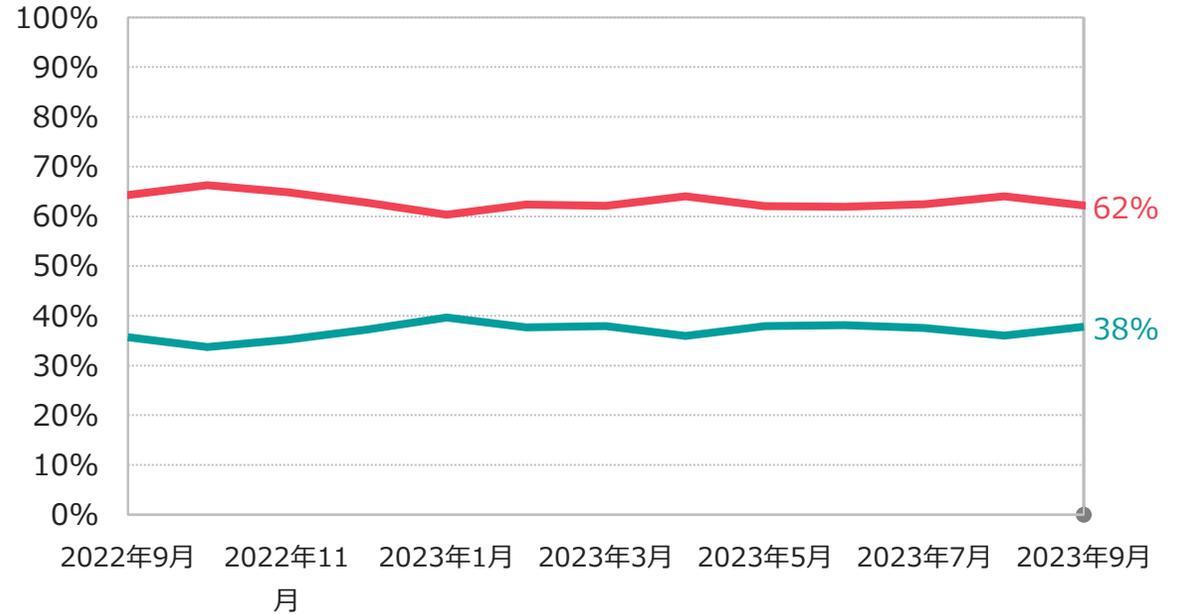
# 世界が懸念していること 12か月のトレンド

Q 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2023年8月25日～2023年9月8日に調査。  
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q 自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？

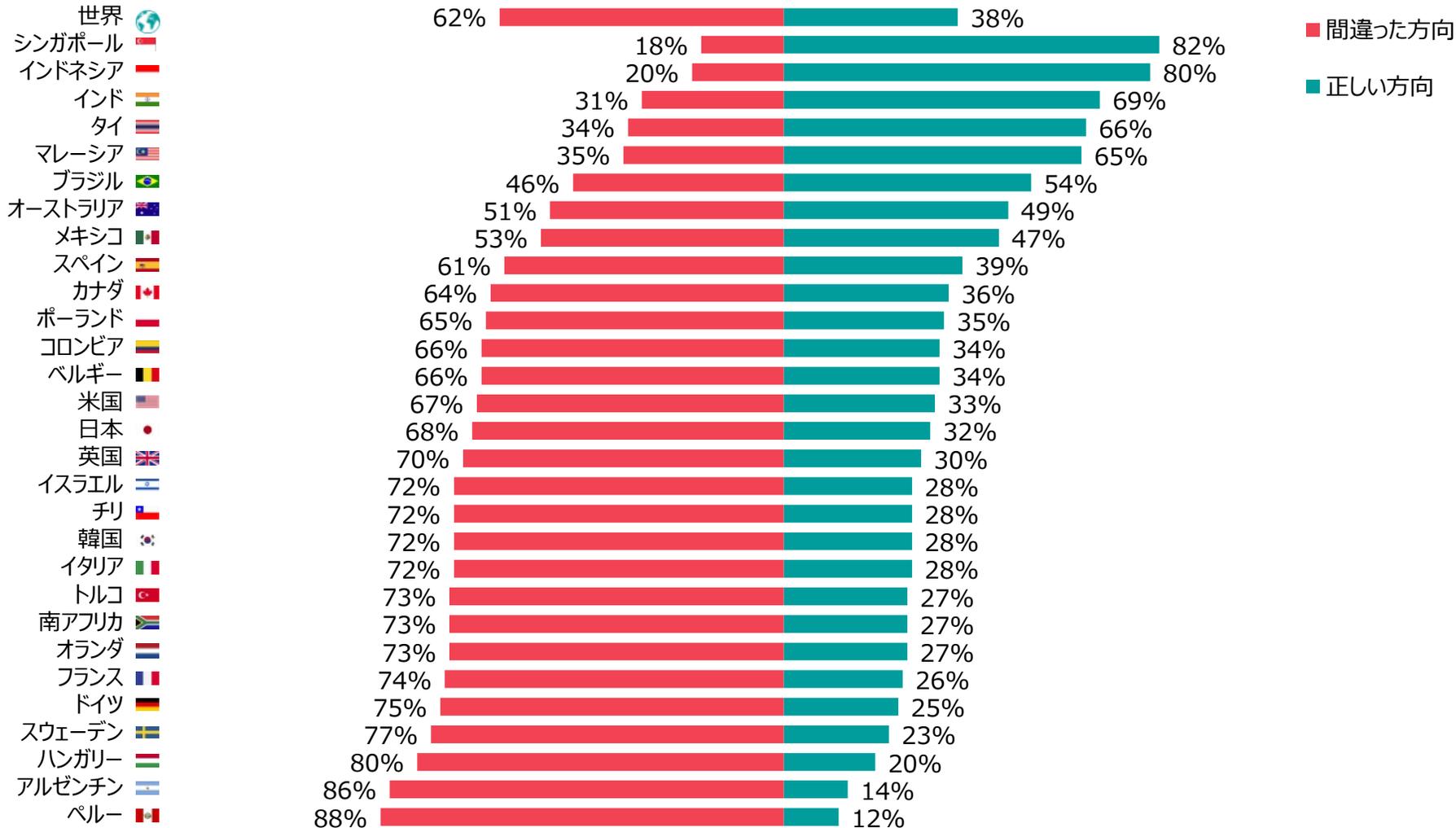


■ 正しい方向 ■ 間違った方向

# 各国が進む方向性 全29カ国

# 正しい方向/間違った方向

**Q** 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？（2023年9月）



世界のほぼ10人に4人（38%）が、自国は正しい方向に向かっていると回答しています。これは8月から2ポイントの微増です。

ドイツは過去10年間で最も低いスコアを記録し、4人に1人（24%）のみが正しい方向に向かっていると回答しています。ドイツでは、46%が正しい方向に向かっていると答えた2022年3月以降、右肩下がりになっており、この2ヶ月でスコアは16ポイント低下しました。

一方南アフリカでは、先月は最も低いスコアだったものの（14%）、現在は27%が正しい方向に向かっていると回答しています。ペルーでは正しい方向に向かっているという意見が6ポイント低下し、最下位となりました。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2023年8月25日～2023年9月8日に調査。

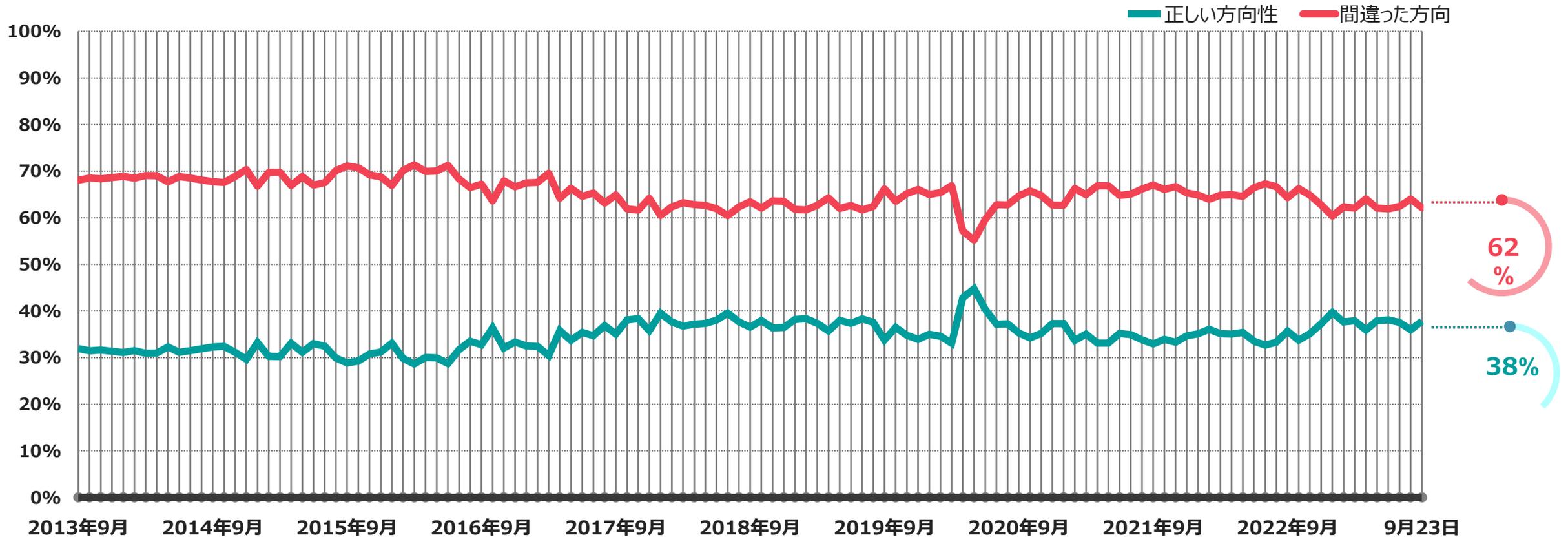
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 世界における、正しい方向/間違った方向

**Q** 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2013年～2023年。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



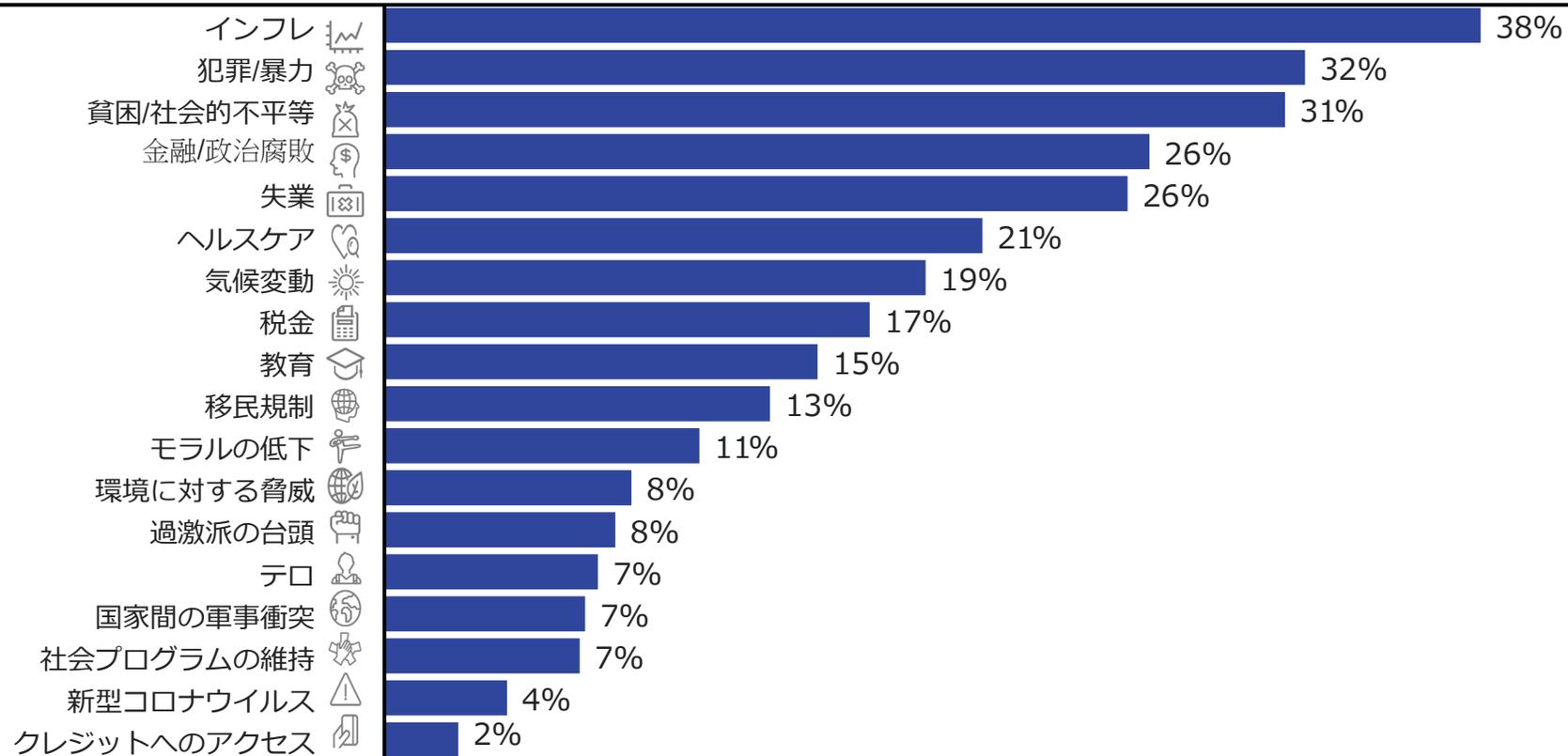
# 世界が懸念していること ランキング上位の懸念



# 世界の懸念事項：全18項目

**Q** 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ教えてください

2023年9月の回答 世界各国平均 (%)



世界が懸念していること調査では、インフレが18か月連続で最大の懸念となっています。29カ国でほぼ10人に4人（38%）が主要な懸念事項だと回答しています。

犯罪/暴力は、貧困/社会的不平等を抜いて2番目に大きな懸念事項となっています。金融/政治腐敗と失業を加え、これらが5大懸念事項を占めています。

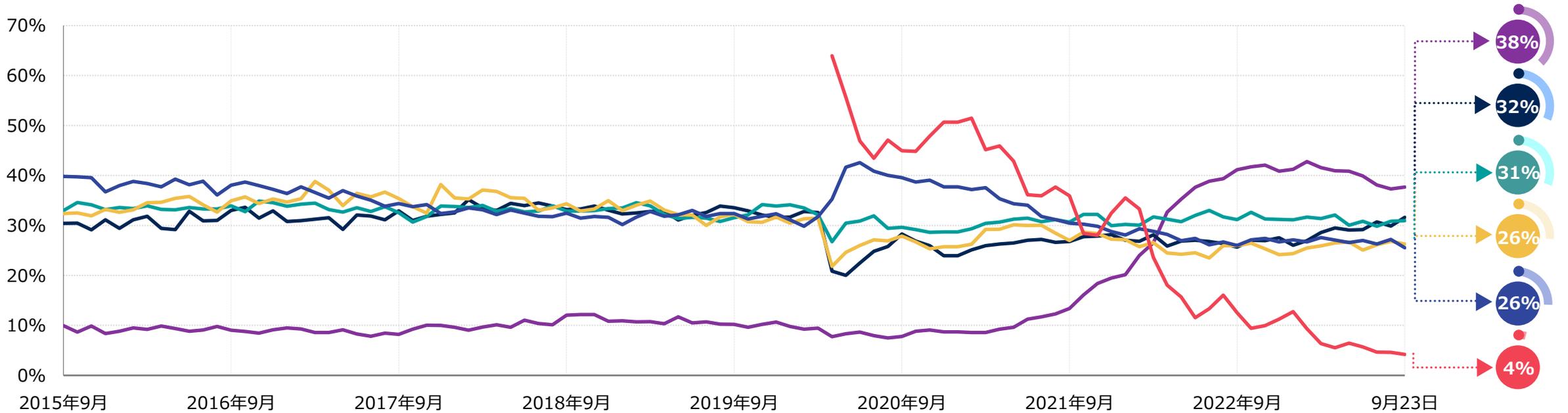
懸念事項に新型コロナウイルスを選んだのはわずか4%でした。これは、2020年に調査に追加されて以来、最も低い水準です。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2023年8月25日～2023年9月8日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 世界の懸念事項：長期トレンド

**Q** 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ教えてください



  
インフレ

  
犯罪/暴力

  
貧困/社会的不平等

  
金融/政治腐敗

  
失業

  
新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2015年～2023年。

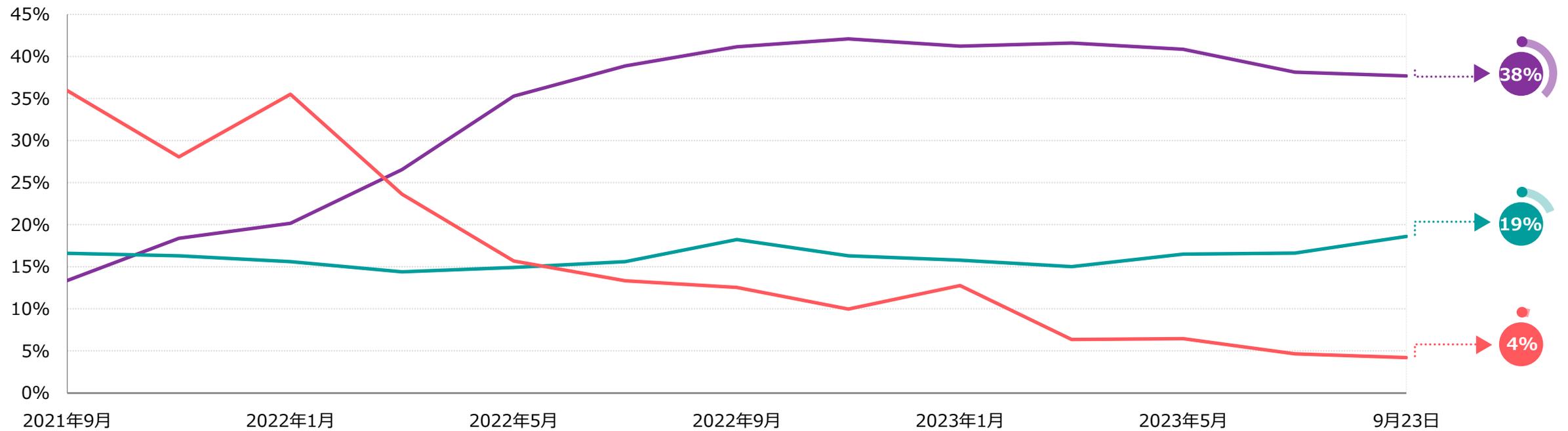
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

10 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 世界の懸念事項：長期的なトレンド (インフレ、気候変動、新型コロナウイルス)



インフレ

気候変動

新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、24,732人。2023年8月25日～2023年9月8日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

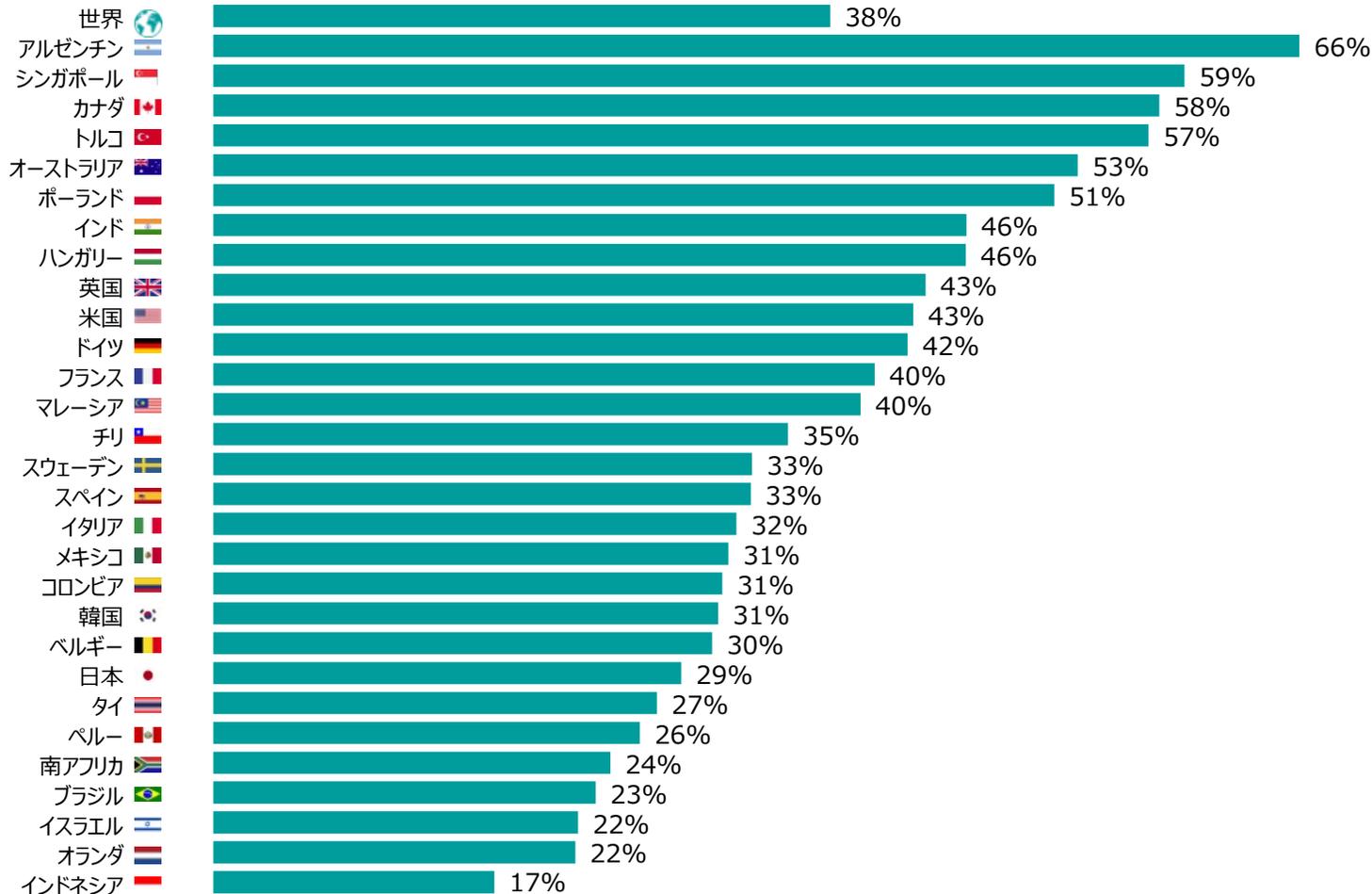
出典：グローバルアドバイザー調査。新型コロナウイルスは2020年4月に調査に導入。

。11 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 1 | インフレ



29カ国のほぼ10人に4人（38%）が、インフレを自国が直面する最大の懸念事項の一つに選んでいます。

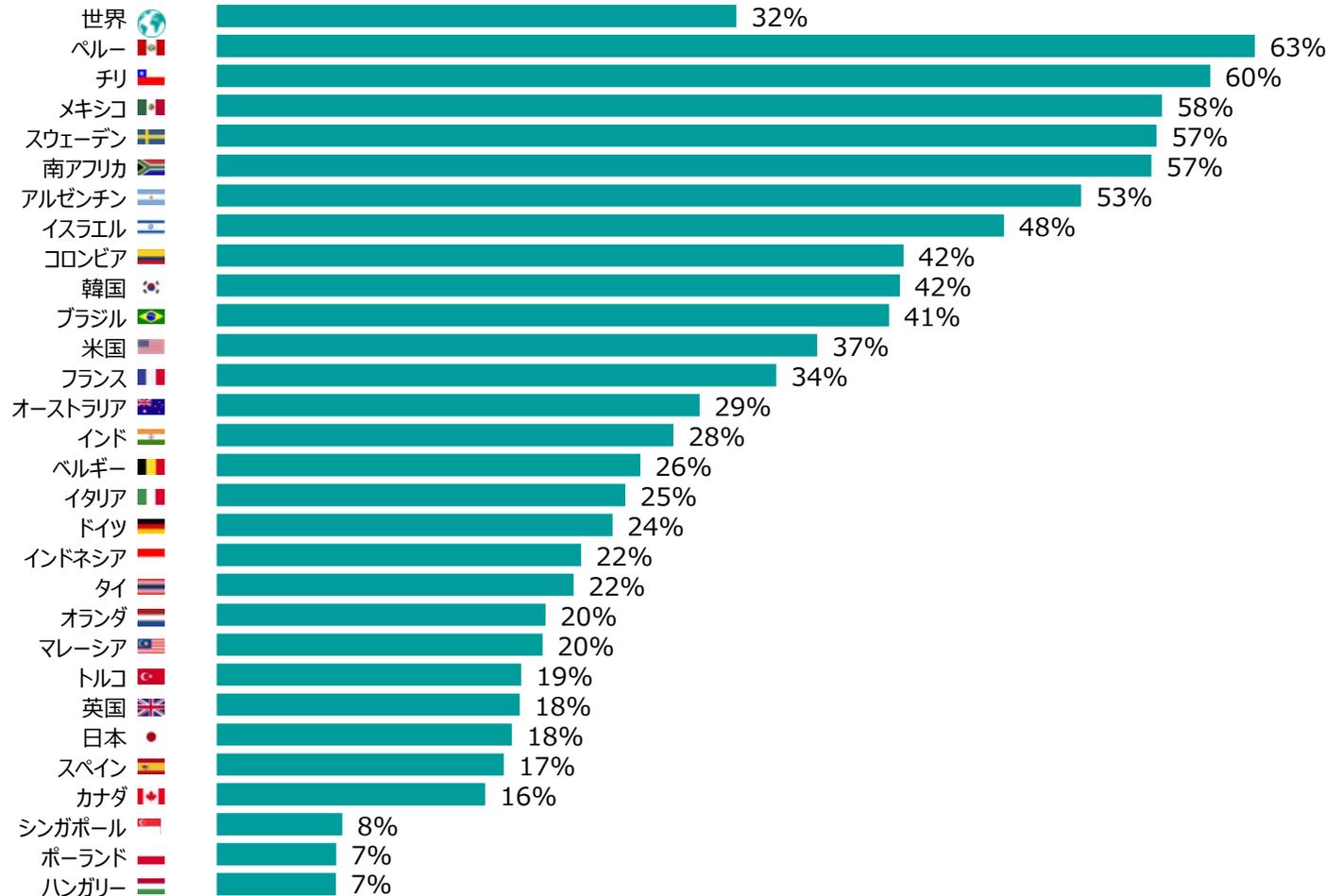
世界的にみると、物価上昇への懸念は、6カ月前に42%が自国の懸念事項として挙げたときより4ポイント低くなっています。

最も懸念しているのはアルゼンチンで、3分の2（66%）が懸念していると回答しました。シンガポールは先月から10%上昇し、10人に6人（59%）が生活費を問題視しています。

カナダ、トルコ、オーストラリアを加えた5カ国がトップ5を占めています。

インドネシアは依然としてインフレを最も懸念していない国で、インフレを懸念しているのは5人に1人（17%）以下です。

## 2 | 犯罪/暴力



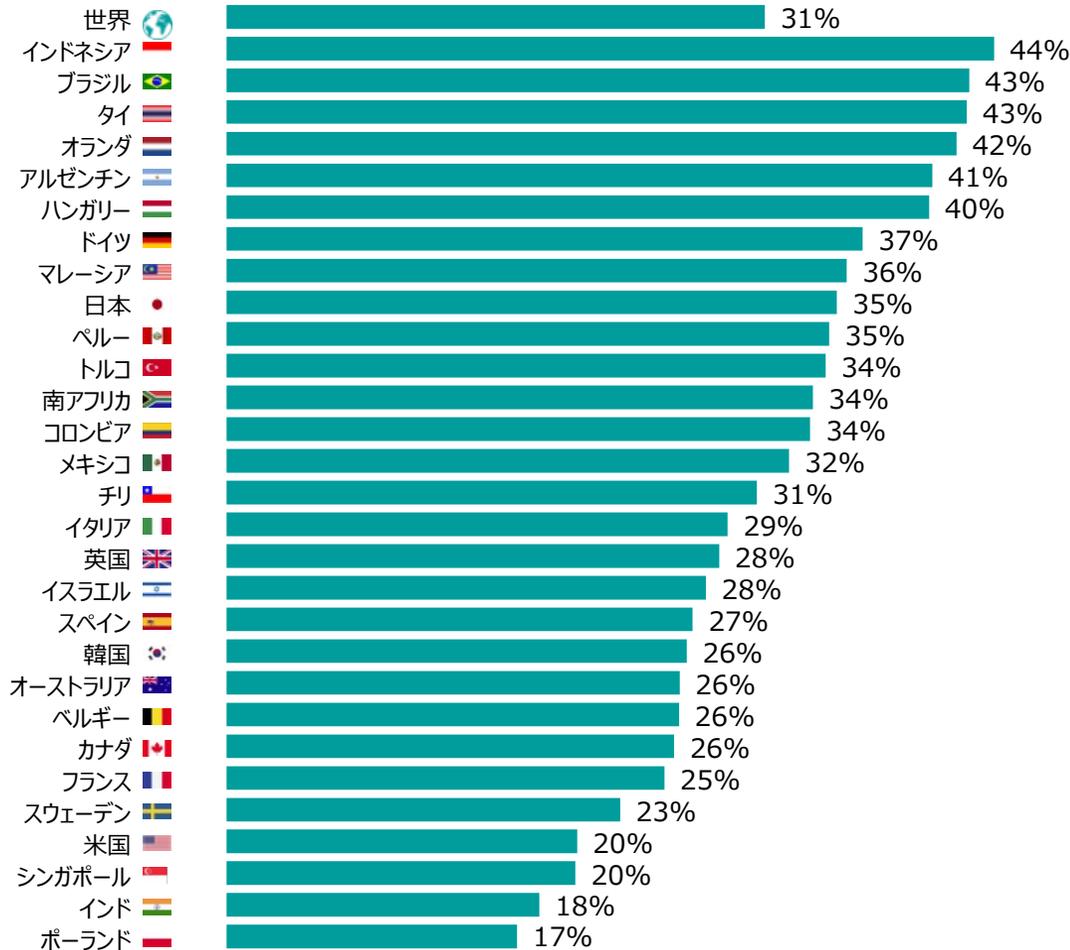
29カ国で3人に1人（32%）が犯罪/暴力を自国での懸念事項に挙げています。

犯罪/暴力に対する懸念は、パンデミック以前から最も高い水準にあります。新型コロナウイルスが世界が懸念していること調査に追加される前月の2020年3月には、33%がトップの懸念事項だと考えていました。

今月、懸念が最も高まったのは韓国で、18ポイント増加しました。10人に4人以上（42%）が、自国に影響を及ぼす懸念事項の一つだと回答しています。これは、同国における一連の暴力的な襲撃事件を受けてのことです。

ペルーは現在、犯罪と暴力を最も懸念している国です。今月は、63%が懸念事項として選択し、懸念が6ポイント増加しました。

### 3 | 貧困/社会的不平等

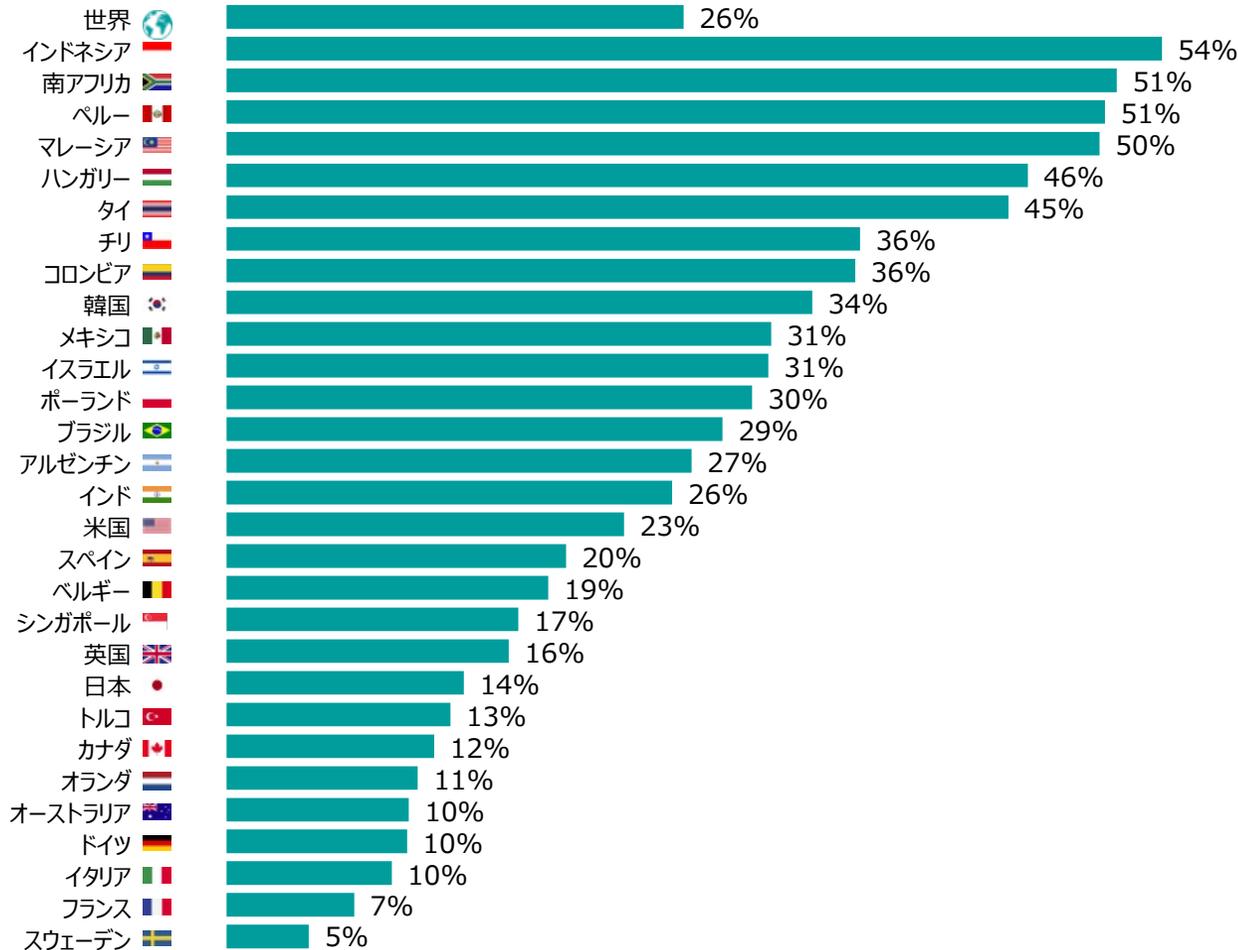


29カ国で3人に1人（31%）が、貧困/社会的不平等を自国における最大の懸念事項のひとつに選んでいます。懸念の度合いは先月と同じですが、世界が懸念していること調査において犯罪/暴力への懸念が増加したため、2位から3位に後退しました。

インドネシアは2ヶ月連続で最も懸念している国であり、44%が懸念事項として選択しました。2位と3位はブラジルとタイで、両市場とも43%が不平等を懸念しています。

オランダは4位で、不平等への懸念が先月より7ポイント増加しました。10人に4人（42%）が懸念事項として選択し、この国最大の懸念事項となっています。

# 4 | 金融/政治腐敗



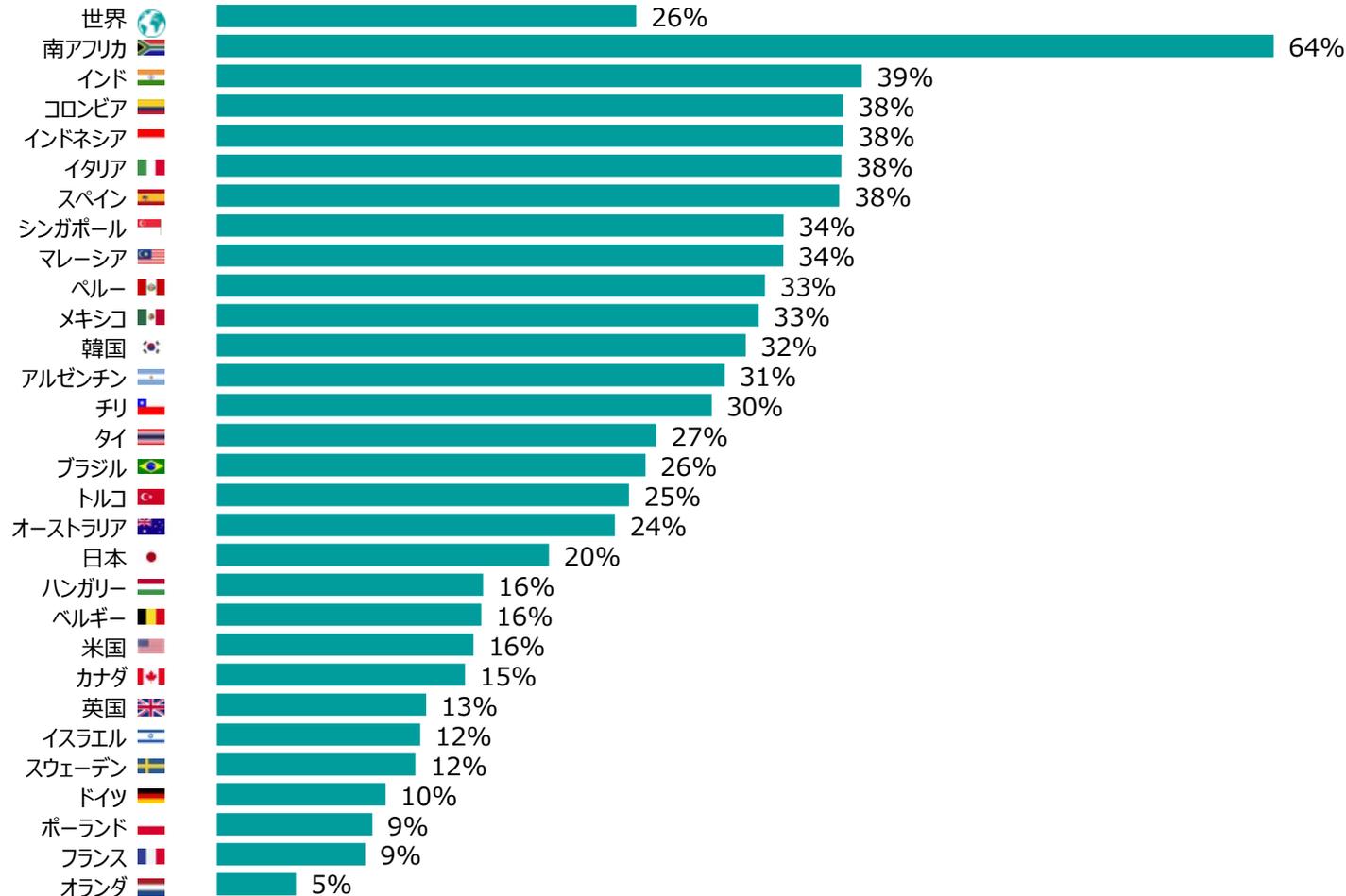
金融/政治腐敗は、29カ国で4人に1人が懸念事項として選択し、世界が懸念していること調査で4番目に大きな懸念事項となっています。

インドネシアは不平等を最も懸念する国であると同時に、汚職を最も懸念する国でもあります。54%がこの問題を最大の懸念事項として挙げています。

南アフリカ、ペルー、マレーシアでも2人に1人以上が汚職を最大の懸念事項としています。

ハンガリーは46%が汚職を懸念しており、これら5カ国でトップ5を占めています。先月、タイは汚職を最も懸念している国の第3位でしたが、現在は7ポイント低下して第6位となっています。

# 5 | 失業



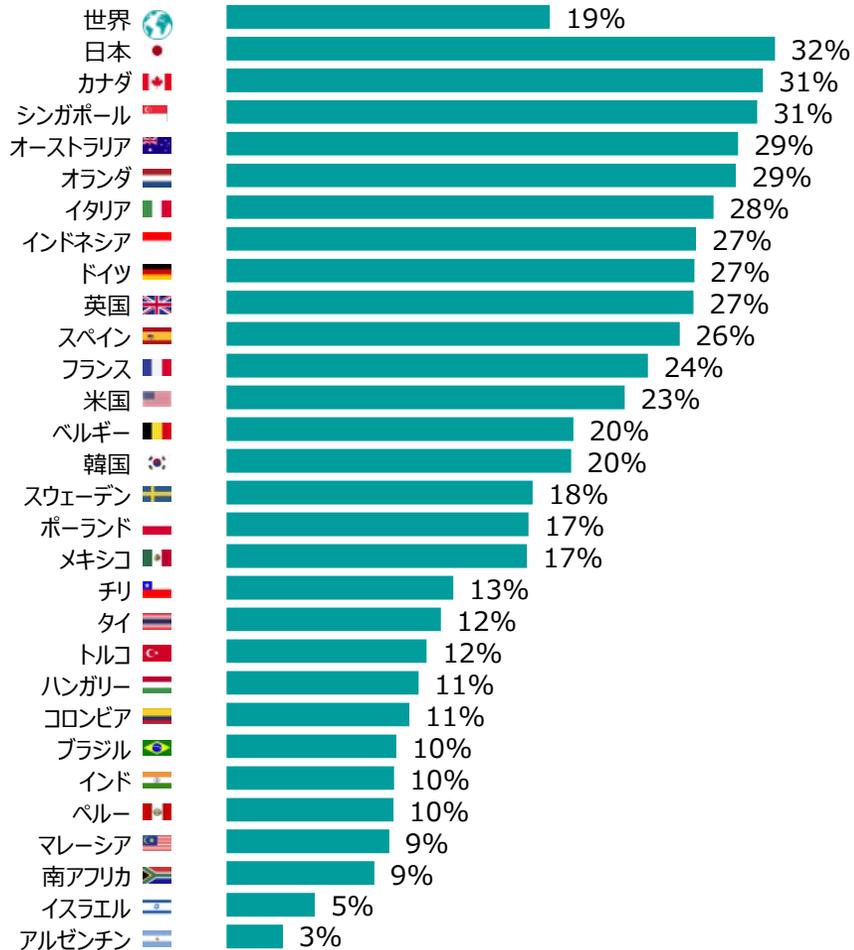
29カ国で4人に1人（26%）が、自国における最大の懸念事項のひとつに失業を挙げています。この懸念レベルは先月と変わりません。

世界的にみると、懸念は12ヶ月前（26%）と同じですが、2年前より4ポイント低く、2020年9月より14ポイント低くなっています。

南アフリカは失業を最も懸念しており、64%が懸念事項として選択しています。南アフリカ人は2021年4月以降、最も懸念を抱いています。

インドが第2位（39%）で、コロンビア、インドネシア、イタリア、スペインがそれに続きます（それぞれ38%）。

# 7 | 気候変動



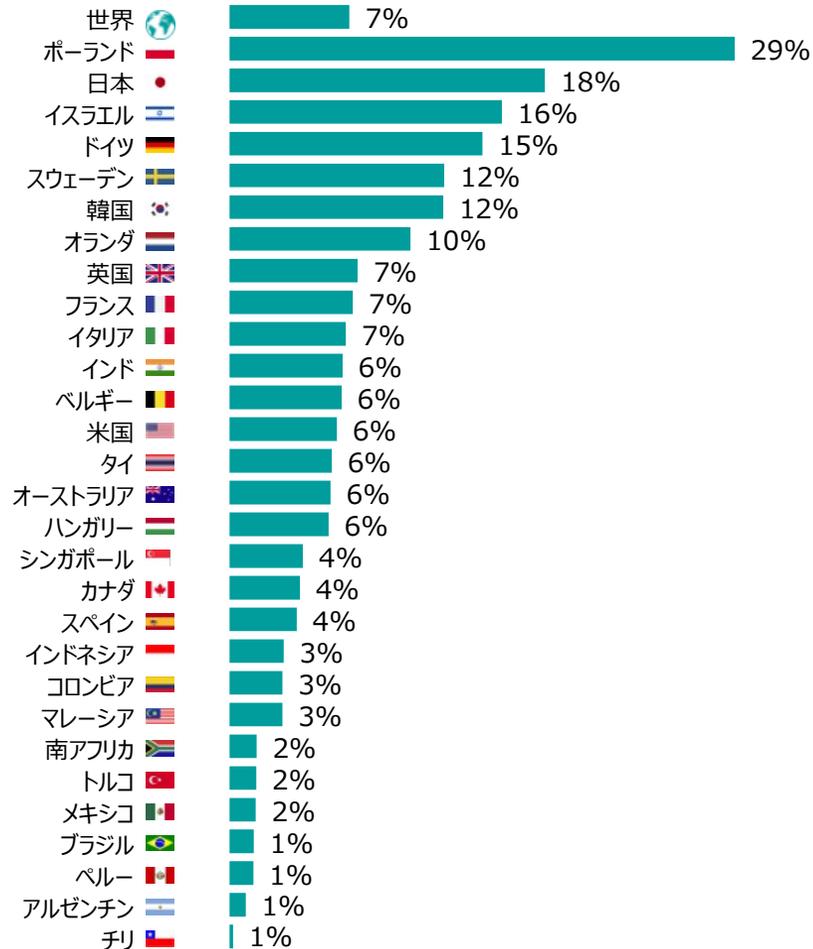
5人に1人（19%）が、気候変動を自国における最大の懸念事項の1つに選んでおり、今回の調査では18の懸念事項のうち7位にランクされている。

ここ数年、北半球が夏を終える9月になると、毎年前年比で懸念が若干高まる。今年の今頃、世界的な懸念は18%だったが、2021年は16%だった。

今月は日本が最も懸念しており、3人に1人（32%）が問題視している。

スペインでは今月、26%が気候変動に対する懸念を示し、過去最高を記録した。これは昨年9月に記録した25%を上回るものだ。

# 15 | 国家間の軍事衝突



国家間の軍事衝突は、18の調査項目のうち、テロと社会プログラムの維持の間で15位にランクされています。

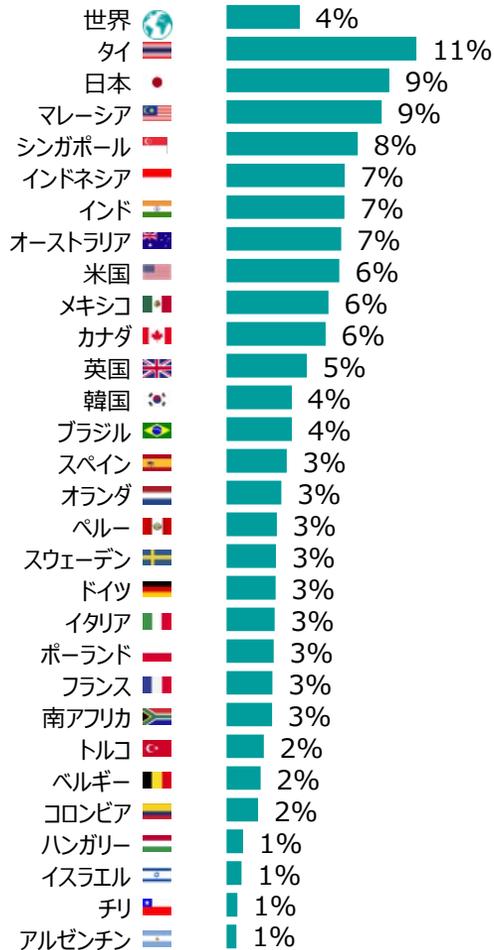
29カ国の7%が、自国に影響を及ぼす最大の問題のひとつだと回答しています。

世界的な懸念は緩やかに横ばいで推移しています。今年の初めには8%が懸念事項として挙げ、昨年も8%でした。

この問題を最も懸念しているのはポーランドで、10人に3人（29%）が自国の懸念事項だと回答し、前月より2ポイント上昇しました。

軍事衝突に関する懸念度が最も低いのは、ラテンアメリカ諸国で、ランキングの最下位5カ国すべてを占めています。

# 17 | 新型コロナウイルス (COVID-19)



新型コロナウイルスへの懸念は今月、新たなレベルに達しました。これは、2020年4月に調査に加わって以来、最も低いスコアです。

初月の2020年4月には、63%が自国の最大の懸念事項であると回答しました。2021年9月の調査でも、この問題は依然としてトップでした。

今年の初めでさえ、新型コロナウイルスは世界的な懸念事項の第10位にランクされていました。当時、最も懸念していたのはマレーシアで、37%が問題視していました。

タイは最も懸念を示す国で、11%が新型コロナウイルスを懸念事項として挙げています。

# 経済への注目

# 自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること調査（What Worries the World）」と並び、毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

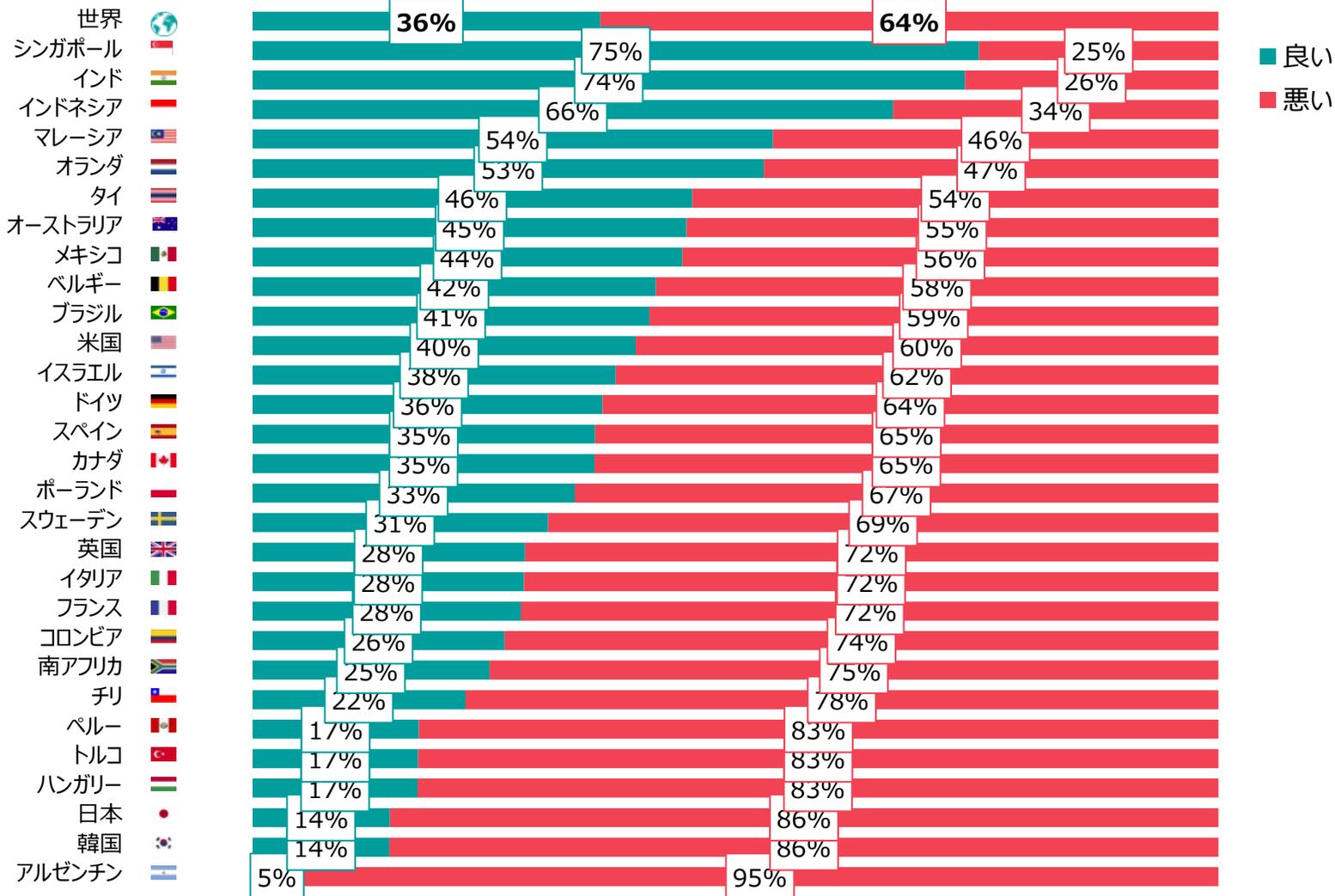
以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳しくは [Teodros.Gebrekal@Ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@Ipsos.com) までお問い合わせください。



# 現在の経済状況

## Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



経済に関する認識の詳細を [イプソスグローバル消費者信頼感指数 \(Ipsos Global Consumer Confidence Index\)](#) で読む

29カ国中、シンガポールは現在の経済について最も肯定的で、4分の3（75%）が「良い」と回答しています。

タイ（+9ポイント）とマレーシア（+8ポイント）は、今月最も経済に対する肯定的な見方を強めています。南アフリカ（7ポイント増の25%）も上昇し、2022年4月以来の最高スコア（同じく25%）を記録しました。

一方、安定と回復が4ヶ月続いた後、スウェーデンの自国の経済状況を「良い」とするスコアは9ポイント低下しました。ペルーとドイツも今月は7ポイント低下しました。

前月から3ポイント上昇し、ベルギーは2022年2月以来の、経済が最も「良い」とするスコアを記録しました（いずれも42%）。ベルギーでは過去12ヶ月間、調査対象のどの国よりも前向きな経済認識が高まっている。

# 現在の経済状況：ベルギー

ベルギーでは、過去12か月間、調査対象国の中で最も経済に対する肯定的な認識が高まっている  
(2022年9月比で16ポイント増)

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：ベルギーの16～74歳の代表サンプル、500人。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23 © Ipsos | 世界が懸念していること

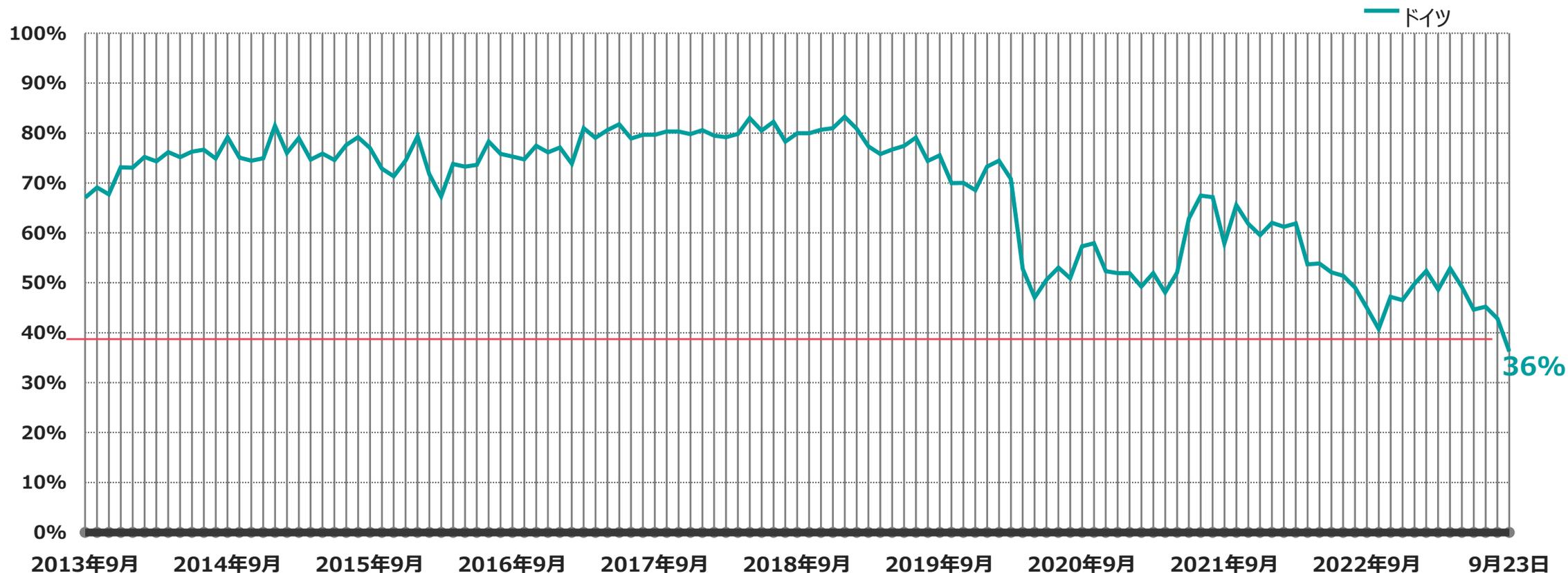
Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 現在の経済状況：ドイツ

7ポイント低下したドイツは、過去最低の、景気が「良い」とするスコアを記録した。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：ドイツの16～74歳の代表サンプル、1000人。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

24 © Ipsos | 世界が懸念していること

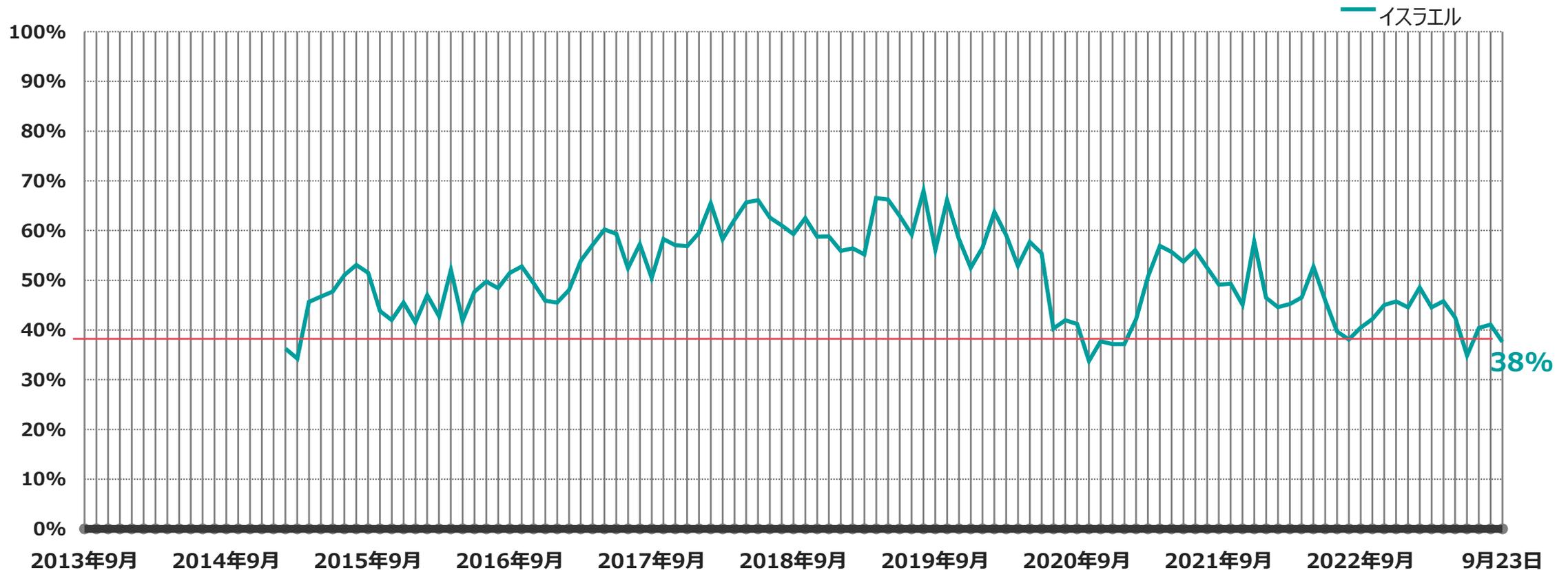
Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 現在の経済状況：イスラエル

今月3ポイント低下したイスラエルは、過去最低の、景気が「良い」とするスコア（2020年10月の34%）まであと4ポイントに迫った。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：イスラエルの16～74歳の代表サンプル、500人。

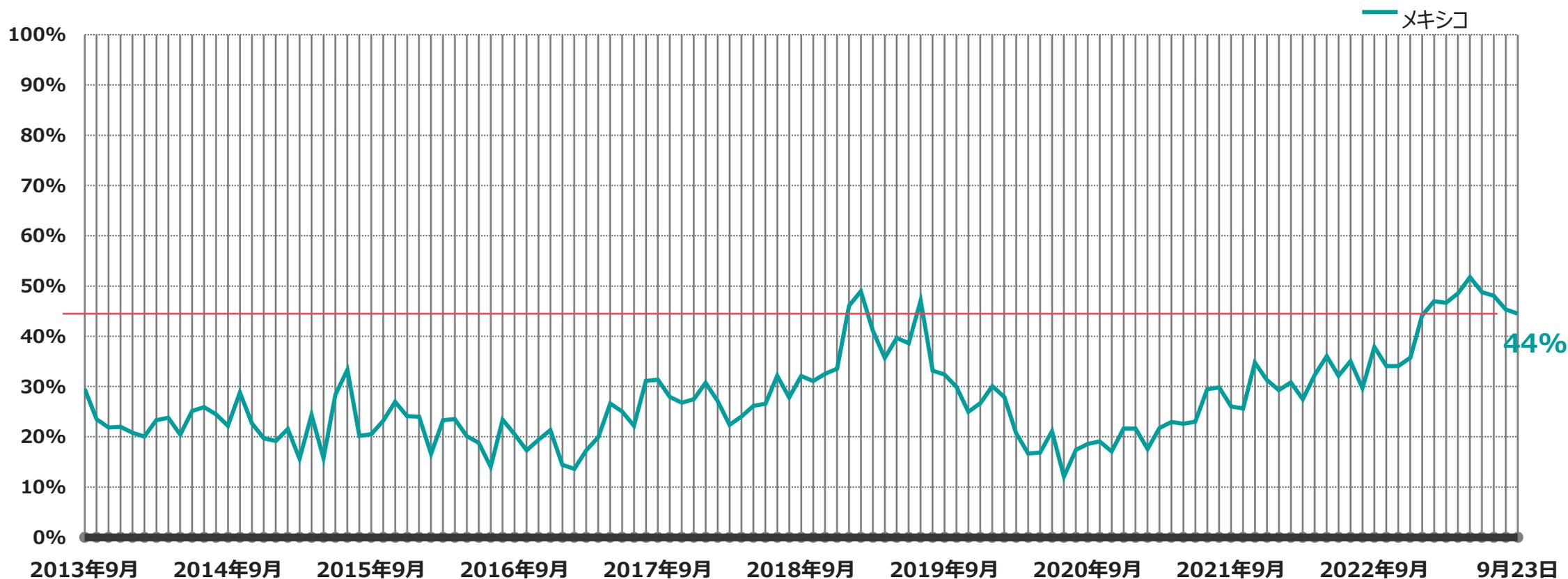
出典：イプソス グローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | 世界が懸念していること

# 現在の経済状況：メキシコ

2023年5月に過去最高スコア（52%）を記録した後、メキシコの景気が「良い」とするスコアは4ヶ月連続で低下している。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：メキシコの16～74歳の代表サンプル、500人。

出典：Ipsos グローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

26 © Ipsos | 世界が懸念していること

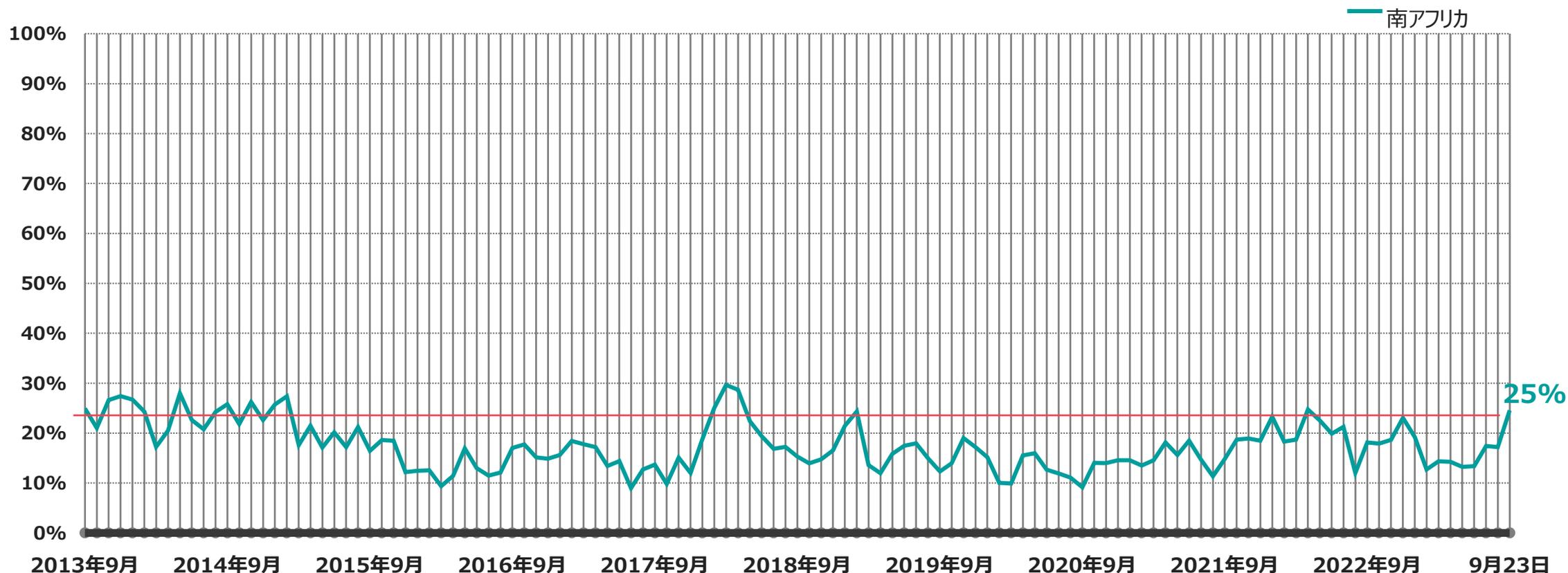
Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 現在の経済状況：南アフリカ

南アフリカの経済状況を「良い」とするスコアは今月7ポイント上昇し、2022年4月（25%）以来の高スコアとなった。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：南アフリカの16～74歳の代表サンプル、500人。

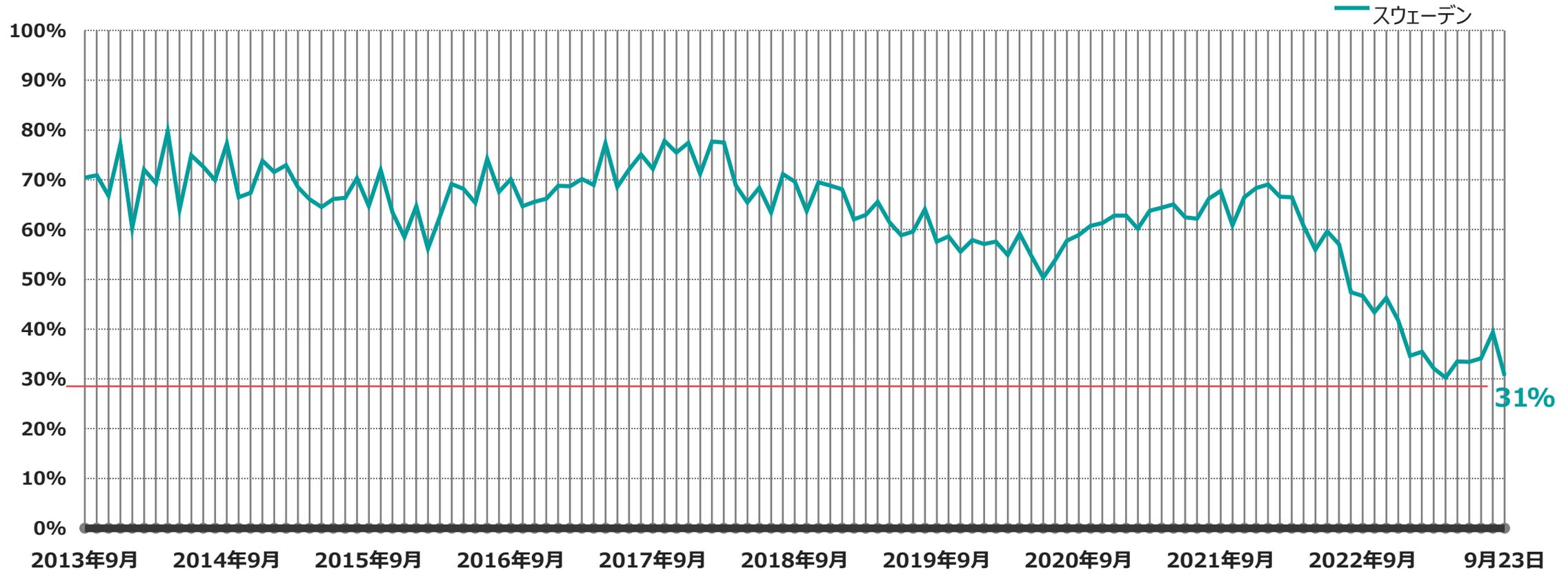
出典：イプソス グローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | 世界が懸念していること

# 現在の経済状況：スウェーデン

スウェーデンの経済状況を「良い」とするスコアは9ポイント低下し、過去最低（2023年4月時点の30%）をわずか1ポイント上回るにとどまった。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：スウェーデンの16～74歳の代表サンプル、500人。

出典：イプソス グローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 現在の経済状況：米国

4ポイントの上昇により、米国の経済を「良い」とするスコアは約2年ぶりに40%に達し、2021年10月（41%）以来の高スコアとなった。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：米国の18～74歳の代表サンプル、1000人。

出典：イプソス グローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Sep 23



# 調査手法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年8月25日～9月8日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の、合計20,570人を対象に、イプソスのオンライン調査プラットフォームで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上から成る。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。

人口統計のバランスをとり、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

Ipsosのオンライン調査の精度は、1,000人の世論調査の場合は±3.5パーセントポイント、500人の世論調査の場合は±5.0パーセントポイントの信頼区間を用いて計算されている。Ipsosの信頼区間の使用についての詳細は、Ipsosのウェブサイトを参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は、現地の規則に従う。